

uPortal および uMobile による大学ポータル構築

梶田 将司

京都大学情報環境機構 IT 企画室

kajita@media.kyoto-u.ac.jp

概要： 米国 Jasig Foundation の uPortal および uMobile は、オープンソースベースでの大学ポータル構築フレームワークである。本報告では、uPortal および uMobile の現状をまとめることにより、大学ポータル実装のあるべき姿について述べる。

1 はじめに

インターネット時代の標準的なプログラミング言語になることが約束されつつあった Java 言語に関して互いに連携・支援することを目的に、デラウェア大学、プリンストン大学、ボストン大学、ブリティッシュコロンビア大学の IT リーダたちが会合をもちはじめたことがきっかけとなり発足した JA-SIG (Java in Administration Special Interest Group) は、1999 年 12 月から毎年夏・冬の 2 回のカンファレンスを開催しながら、大学の情報環境における Java ベースのオープンソースソフトウェアの開発・維持・実践共有を行ってきた [1]。特に、2001 年に Andrew W. Mellon Foundation からの支援を受け開発が本格化した uPortal は、数百の高等教育機関・初等中等教育機関・学術コミュニティで使われる大学における標準的なポータルフレームワークとして発展し、2007 年には uPortal プロジェクトそのものが EDUCAUSE Catalyst Award を受賞した (業績紹介が <http://www.youtube.com/watch?v=HsxmkSShuWE> から閲覧可能)。

本報告では、2011 年 7 月にリリースされた uPortal 4 およびスマートフォンでの利用を強化するために新たに開発された uMobile について述べることにより、大学ポータルの今後について議論したい。

2 uPortal4 および uMobile

uPortal は、大学が大学のために開発しているオープンソースベースのエンタープライズポータルフレームワークで、大学・企業・非営利団体からの人的・金銭的リソースの提供を受けて全世界からのコントリビュータにより開発が続けられている [3][4]。

技術的には、Java や XML 等のオープンで標準化されたテクノロジーを用いて構築されており、大学の認証基盤や各種基盤システムとの統合やカスタマイズが容易にできるようになっている。また、複数

のロールに従った動的でフレキシブルな個人化されたレイアウト管理機構を有している。

uPortal 4 では、ポートレット標準規格である JSR 286 や、UI の実装に用いられている Spring WebFlow が、最新の Spring Version 3 対応となった。また、デフォルトテーマも洗練され、より親しみやすいものとなった (図 1 参照)。

uPortal そのものにもアクセスの際使用されるブラウザに応じてテーマ (見た目) を切り替える機能があり、スマートフォンのようなデバイスからのウェブアクセスにも対応できるが、スマートフォンと uPortal の間に入って仲立ちする uMobile の開発により、ネイティブアプリケーションによるスマートフォン対応が可能になった (図 2 参照)。

3 まとめ

本報告では、uPortal 4 および uMobile の機能について簡単に述べた。

大学の構成員が情報環境にアクセスする際に使用するデバイスとして、PC やノート PC だけでなく、スマートフォンも急速に利用が増えている。uPortal は、どちらのアクセスデバイスにも対応しており、しかも、Apache Software License 2.0 に準拠したオープンソースとして、誰でも改変・再配布・事業化が可能である。このようなフレキシブルな手段を用いて各大学が大学ポータルの構築やスマートフォン対応を進めることで、様々なベストプラクティスをコードレベル・ノウハウレベルで共有できるようにすることができる。

参考文献

- [1] Jasig Foundation “What is Jasig?”
、<http://www.jasig.org/about>
- [2] Jasig uPortal <http://www.jasig.org/uportal>
- [3] リチャード・N・カツ編、梶田将司訳：ウェブポータルを活用した大学改革 ― 経営と情報の連携、東京電機大学出版局 (2010)。

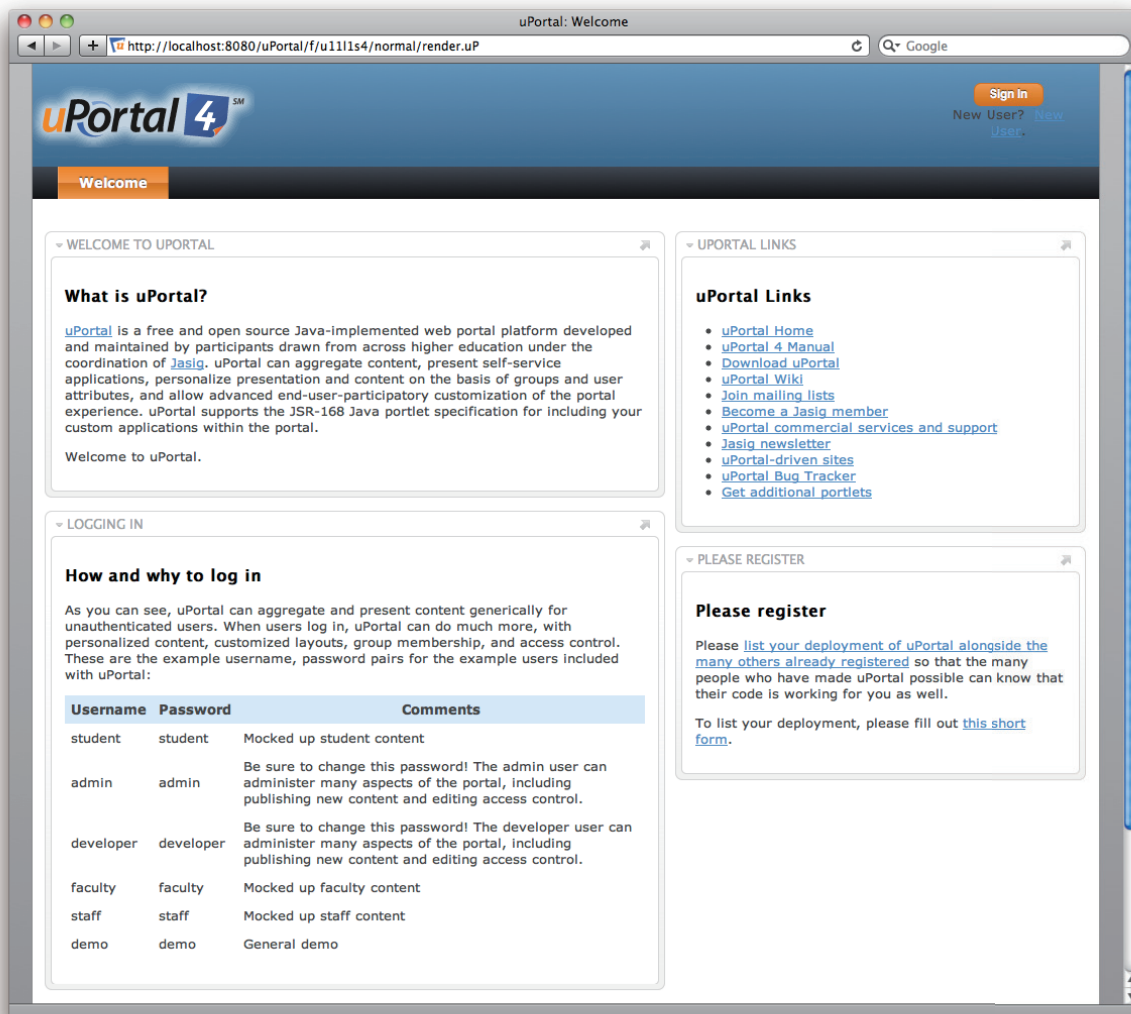


図 1: uPortal 4 のクイックスタート版

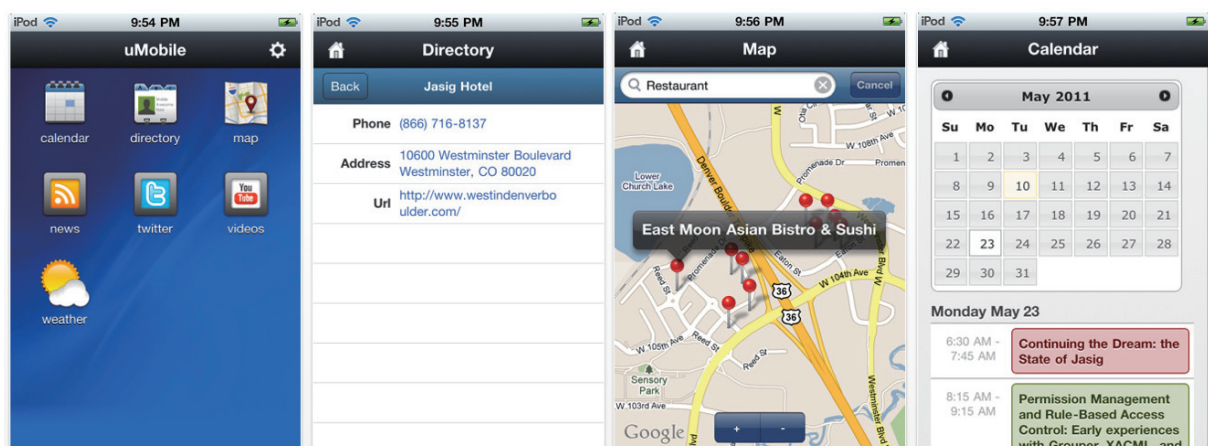


図 2: uMobile の iPhone 版